

2026.

5

# 海外トピックス

## 静岡県海外駐在員報告

静岡県企画部地域外交課



天竜浜名湖鉄道と姉妹鉄道の「集集線」駅舎など

### 東南アジア

ビルの屋上でトマトを育てる ー日本農業技術、シンガポールへー  
焼き畑の煙が、海をこえてくる ーヘイズ体験記ー

### 中国

中国国際園林博覧会（浙江省・温州市）で「静岡県PRウィーク」を開催  
習近平総書記、国民党の鄭麗文主席と会談<中国大陸の視点から>

### 台湾

「異文化理解は共通点探し」片山ゆかり氏の講演会に参加  
国民党の鄭麗文主席、習近平総書記と会談<台湾の視点から>

### 韓国

静岡県訪問団が釜山市を訪問  
韓国国立中央博物館昨年来館者数が世界3位

# 東南アジア駐在員報告

駐在員：村川 未帆

## 経済

### ビルの屋上でトマトを育てる ―日本の農業技術、シンガポールへ―

昨年12月に開催された静岡・シンガポールアグリフードフォーラムで、浜松市発の農業スタートアップ「Happy Quality」が、シンガポール企業「Tomato Town」と連携して、屋上農園でトマト栽培のテストを始めるという発表を聞き、先日、その現場を視察した。

公共住宅（団地）の立体駐車場の屋上に組まれた温室で、AI灌水システム、水循環装置、葉の動き等を観察するカメラ、3D画像分析など、最先端の農業技術を活用し、日本からの定期的な遠隔技術指導と併せて、高品質トマトを栽培していた。

シンガポールは国土が狭く、農地に指定された土地は国土のわずか1%にとどまる。食品の90%以上を輸入に頼っていることから、政府は屋上農園の活用を推進しており、農業用に屋上スペースを低価格で開放している。屋上スペースを借りるためには、生産計画・技術力も厳しく審査されるが、Tomato Townはトマト栽培を軌道に乗せ、更なる屋上農園の確保も視野に入れているという。

現在、シンガポールで流通する輸入トマトは価格が高く、品質も十分とは言えない。そのため現地の食文化においてもトマトは脇役に甘んじている。Happy Qualityの技術を活用した高品質トマトが地産地消でシンガポールに出回るようになれば、現地の食文化におけるトマトの位置づけも大きく変わるであろう。屋上に設置されたトマトの温室を眺めながら、静岡発の農業技術がシンガポールの食卓に根づく日が、そう遠くないことを感じた。



## 社会

### 焼き畑の煙が、海を越えてくる ―ヘイズ体験記―

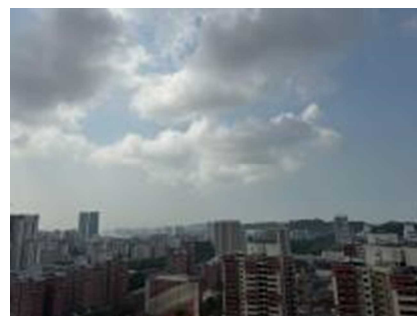
シンガポール在住のメリットのひとつは杉・ヒノキの花粉がないことである。日本で春先に悩まされる花粉症とは無縁の生活、と思っていたら、別の環境リスク「ヘイズ」が待っていた。ヘイズとは、インドネシアやマレーシアなどで行われる焼き畑・野焼きの煙が季節風に乗って飛んでくる越境煙害だ。3月中旬、喉の痛みから風邪を引き、治りかけたところから咳が止まらなくなり、約1か月近く体調不良が続いた。ヘイズの影響もあり、体調不良が長引いたのではないかと感じている。喘息など気管支が弱い方は特に要注意だ。

学生時代に習った焼き畑農業が、まさか自分の咳の一因になるとは思いもしなかった。現地メディアでも、マスクや空気清浄機の売り上げが急増したと報道され、周囲でも体調不良を訴える者が続出した。

AIやアグリテックが農業を変える21世紀に、なぜ焼き畑による大気汚染が何十年も解決しないのか。背景には複雑な利害構造があるとされる。焼き畑に関わる農園には、シンガポールなど周辺国の企業・資本も関係しているとの指摘があり、被害国が加害側を一方的に強く批判しにくい面がある。また、平均月収約2万円以下の農業現場に先端農業技術は届かない。これは技術の問題ではなく、貧困と国際的な利害調整の問題である。

シンガポールの屋上でAI農業が発展する一方、400km先では今も森が燃えているのが現実だ。

東南アジアへ出張・旅行の際は大気汚染指数を確認し、気管支が弱い方はN95マスクを携帯することをお勧めする。



煙でどんよりのした空

# 中国駐在員報告

駐在員：石川 祐介

## 経済

### 中国国際園林博覧会（浙江省・温州市）で「静岡県PRウィーク」を開催

4月15日、浙江省・温州市で第15回中国国際園林博覧会（China International Garden Expo）が開幕した。この「庭園の万博」は、約230ha（東京ドーム49個分）の敷地に日本、イギリス、オランダなど11か国の海外館、北京・上海・広州など各都市をイメージした個性豊かな庭園が設けられ、週末には各地から10万人を超える来場者が訪れている。



このうち海外館は、世界各地で活躍する温州出身の華僑が運営を受託しており、日本館は日本浙江総商会（在日本の浙江省同郷会）が、展示・販売品の選定から運営までを担っている。静岡県は同会と良好なコミュニケーションが取れていることから、会場では楽器の展示（ヤマハ）、日本酒・健康食品・菓子の販売（花の舞酒造・エーエフシー・三立製菓）など、本県の製品が好立地に並んでいる。

中国事務所では、この日本館で「前半の集客のヤマ場」である労働節（5月1～5日）に「静岡県PRウィーク」を開催。天候にも恵まれ、来場者に両県省の友好関係をPRした。両国間の政治的な緊張は払っていないものの、来場者の反応は総じて良く、現地では交流継続に向けた地道な活動を続けている。



## 社会・時事

### 習近平総書記、国民党の鄭麗文主席と会談 <中国大陸の視点から>

台湾・国民党（中国国民党）の鄭麗文（てい・れいぶん）主席（党首）が4月10日、北京の人民大会堂で中国共産党の習近平総書記と会談した。

中国国営放送の「中央広播電視総合」など主要メディアは本件について、「中国共産党の習近平総書記が、鄭麗文主席が率いる中国国民党の訪問団と重要な対話を行った。」と報じた。習近平氏は会談で「兩岸の同胞は皆、台湾海峡の平和と安定、兩岸関係の改善と発展を願っている」とし、「中華民族全体の利益のため、心の絆を深めて中華民族の偉大なる復興を実現しよう」と呼びかけ、中国大陸では総じて好意的な動きとして受け止められている。

習近平氏は、2025年10月に国民党主席に鄭麗文氏が当選すると祝電を送るなど、良好な関係づくりを進めている。今回の訪問も、鄭麗文氏は習近平氏の招待に呼応して上海・南京・北京を歴訪。南京では「日本の帝国主義によって兩岸の関係が悪化した」との発言や、1992年に兩岸が「1つの中国」の概念に合意したとされる「92コンセンサスを堅持して兩岸関係の平和的発展に重要な役割を果たしていく」との発言など、中国大陸との結びつきを強めようとの意向が感じられ、今回の訪問では経済優遇措置という実利を持ち帰った。

日本から兩岸関係を見ると、「台湾民進党」と「中国共産党」の舌戦がクローズアップされ「一触即発の状態」と感じるかもしれない。しかし現地では、地縁や血縁などの様々な背景を持つキーパーソンが意思疎通のチャンネルを持ち、バランスを取っている。台湾では決して好感度の高くない鄭麗文氏だが、中国大陸の視点から見ると、兩岸関係の緊張を和らげる緩衝材として、一定の役割を担っているとも言える。

# 台湾駐在員報告

## 駐在員：市川 美奈子

### 行政

#### 「異文化理解は共通点探し」片山ゆかり氏の講演会に参加

3月26日、外国語教育・第二言語習得研究者である片山ゆかり氏の講演会に参加した。片山氏は、日本台湾交流協会の片山代表の夫人であり、これまでにイギリス、マレーシア、中国（北京・上海）、ペルーなど、さまざまな国・地域での生活経験がある。講演では、片山氏が赴任地でスタッフマネジメントに深く関わっていることや、赴任地の要人との面会や会食などの段取りをセッティングしていることなど、管理職のような形で赴任地の組織の運営に関わっていることを知ることができた。そして、危険地域であっても、自分の身は自分で守らないといけないのだそうだ。膨大な仕事量と心身ともに負荷がかかる環境に耐えかねて、赴任地でメンタルを壊してしまう代表夫人も多いとのこと。そのような大変な環境であっても、「今の仕事は天職」と明るくお話される姿に勇気をいただいた。

片山氏は英語教育・日本語教育・バイリンガル教育の研究者でもあり、これまで赴任地でさまざまな教育活動や研究活動に従事されている。片山氏が講演で「異文化理解は共通点探し」とおっしゃっていた。この言葉には、さまざまな国で言語を通じて相手に対する理解を深めてこられた方の言葉として、非常に説得感があった。

「言語を通じて相手に対する理解を深める」ことができるのは、ここ台湾においても同様だろう。実は台湾で使用されている言語は非常に複雑だ。台湾での公用語は「中国語（台湾華語）」であり、「台湾語」ではないが、台湾語は、1949年から1991年まで続いた白色テロ（為政者によって行われる弾圧や言論統制）の間も家庭内で受け継がれてきた歴史がある。台湾人の中には、心の声（愚痴など）を表現したい時は台湾語を使うという人が一定数いる。

個人的な話になるが、昨年秋から台湾語の勉強を始めた。普段は台湾華語で会話している台湾の友人たちとも、台湾語を通じて、心の距離をさらに縮めていけたらと思っている。

### 社会・時事

#### 国民党の鄭麗文主席、習近平総書記と会談 〈台湾の視点から〉

台湾・国民党（中国国民党）の鄭麗文（てい・れいぶん）主席（党首）が4月10日、北京の人民大会堂で中国共産党の習近平総書記と会談した。

台湾メディアの中で比較的中立とされる中央社は本件について、「与党・民進党（民主進歩党）は同日、中国に対し、中華民国台湾の人々の自由や民主主義に対する堅持を尊重するよう呼びかけた」と報道している。また、訪中時、鄭氏が中国共産党の歴史観に呼応する姿勢を取ったことについて、「対中政策を担う特別行政機関である大陸委員会が『遺憾』だと批判した」とも報道している。総じて否定的な反応だ。

鄭麗文主席は1988年に民進党に入党したが、2002年に離党。2005年に連戦主席（当時）の招きに応じて国民党に入党し、国民党でスポークスマンなどを歴任した異色の経歴の持ち主だ。民進党議員だった頃は国民党を激しく批判していたが、いまでは舌鋒鋭く民進党批判を続けている。ただし中国共産党寄りの過激な発言が多く、党首としての資質に疑念を抱いている人が少なくない。台湾のメディア「美麗島電子報」が4月13日に公表した最新の世論調査によると、鄭麗文主席の好感度はわずか23.7%だそうだ。

好感度はいまひとつだが、それでも鄭氏が台湾最大の野党である国民党の党首であることは事実。今後、世論がどのように動いていくのか、引き続き注目していきたい。

# 韓国駐在員報告

駐在員：小川 雄太

## 行政

### 静岡県訪問団が釜山市を訪問

4月27日から29日にかけて、富士山静岡空港と釜山金海空港を結ぶエアプサンによる定期便運航を後押しするため派遣された、中田静岡県議会副議長を団長とする訪問団に随行し釜山市を訪問した。

駐在員事務所の所在するソウル市から釜山市への主な交通手段として、高速鉄道（Korea Train Express: KTX）や飛行機（金浦空港—金海空港）が挙げられる。今回は、往路は高速鉄道、復路は飛行機を利用して移動した。高速鉄道は、日本でいう新幹線に近いが、新幹線よりは、やや車内は狭いかもしい。全席予約制だが、ほとんど全便が当日までには満席となってしまうので、確実に席を確保するには早期の予約が必須である。高速鉄道には改札口が無く、誰でもプラットフォームまで立ち入ることができる。乗車後に車内で検札が行われる場合もあるが、筆者が乗車した際は検札が行われることはなかった。

釜山市は人口330万人程度の韓国第2の大都市であると同時に、山と海に囲まれ、「チャガルチ海鮮市場」や「海雲台（ヘウンデ）海水浴場」など美しい海岸を始めとした観光資源に恵まれた街である。今回はチャガルチ海鮮市場周辺を視察することができた。チャガルチ海鮮市場は韓国でも最大級の水産市場であり、新鮮な魚介類をその場で購入し料理して食べることができる非日常体験が、観光客に人気の定番スポットである。平日の訪問であったにも関わらず、多くの外国人観光客の姿が見られ、活気付いた様子であった。チャガルチ市場に限らず釜山市は地下鉄網が発達しており、地下鉄のみの利用だけでも各種観光スポットを回ることができるなど、アクセスも良好である。さらに、市内は外国語を併記した案内板が各所にあり、宿泊についても日本語でチェックイン可能なホテルも多く、日本人も観光しやすくなっている。

静岡空港の釜山線就航により、静岡県からでも国内旅行と同程度の移動時間でより気軽に釜山観光ができるようになったため、海外旅行が初めての方にもおすすめである。

## 文化

### 韓国国立中央博物館の昨年来館者数が世界3位

イギリスの美術専門月刊紙がまとめた「2025年世界博物館来館者数調査」によると、韓国国立中央博物館が年間来館者数650万7483人を記録し、ルーヴル美術館（約905万人）とバチカン美術館（約694万人）に次いで3番目の数字となった。同調査では、東京国立博物館の来館者は257万人程度となっている。

韓国国立中央博物館は、1945年に設立された国内最大規模の歴史博物館であり、最寄りの二村（イチョン）駅に直結しているためアクセスも良好である。

韓国国内では、同博物館の来場者数について、今年は世界第2位も視野に入っているとの報道記事が早くも見られている。

なお、現在は常設展示の入場料は無料となっているが、好調な来館者数実績を踏まえて、入場有料化も検討されているという。

## 静岡県 海外駐在員事務所

### ●東南アジア駐在員事務所（シンガポール）

住所	12 Eu Tong Sen Street, #04-168 The Central(S0H02), Singapore 059819		
電話	+65-6221-0432	FAX	+65-6221-0477
URL	<a href="http://shizuoka.sg/">http://shizuoka.sg/</a>		
E-mail	fujinokuni@shizuoka.sg		

### ●中国駐在員事務所（上海）

住所	上海市長寧区延安西路 2201 号 国際貿易中心 2611 室		
電話	+86-21-6275-0909	FAX	+86-21-6275-8856
URL	<a href="http://www.shizuokash.com">http://www.shizuokash.com</a>		
E-mail	ilfjs@shizuokash.com		

### ●韓国駐在員事務所（ソウル）

住所	3rd Floor, 50, Eulji-ro, Jung-gu, Seoul, Korea 04534(クレアソウル内)		
電話	+82-2-733-5681	FAX	+82-2-732-8873
URL	<a href="http://shizuokaseoul.com/">http://shizuokaseoul.com/</a> <a href="https://blog.naver.com/goshizuoka">https://blog.naver.com/goshizuoka</a>		
E-mail	shizuoka@clair.or.kr		

※2026年4月に自治体国際化協会（クレア）ソウル事務所に移転しました

### ●台湾駐在員事務所（台北）

住所	台北市中山区南京東路二段 137 号 連邦商業ビル 13 階		
電話	+886-2-2508-1515	FAX	+886-2-2503-5303
URL	<a href="http://www.shizuoka.org.tw/">http://www.shizuoka.org.tw/</a>		
E-mail	shizuoka.tw@gmail.com		

### <日本での連絡先>

静岡県 企画部 地域外交課

住所：静岡市葵区追手町 9-6

電話：054-221-2505 FAX：054-221-2542

E-mail：kokusai@pref.shizuoka.lg.jp